

みずほCustomer Desk Report 2018/07/30 号(As of 2018/07/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.18
TKY 9:00AM	111.16	1.1644	129.43	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.25	1.1664	129.46	1.3107	0.7381
SYD-NY Low	110.80	1.1620	129.14	1.3131	0.7414
NY 5:00 PM	111.02	1.1652	129.44	1.3082	0.7370
				1.3111	0.7404
NY DOW	25,451.06	▲ 76.01	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,737.42	▲ 114.77	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	2,818.82	▲ 18.62	米国2年債	2.6755	▲ 1.22bp
日経平均	22,712.75	125.88	米国5年債	2.8454	▲ 1.86bp
TOPIX	1,775.76	9.98	米国10年債	2.9570	▲ 2.41bp
3ヵ月日経先物	22,635.00	▲ 5.00	独10年債	0.4010	▲ 0.25bp
ロンドンFT	7,701.31	38.14	英10年債	1.2785	0.10bp
DAX	12,860.40	51.17	豪10年債	2.6550	▲ 3.90bp
ハンセン指数	28,804.28	23.14	USDJPY 1M Vol	7.29	▲ 0.16%
上海総合	2,873.59	▲ 8.63	USDJPY 3M Vol	7.55	▲ 0.13%
NY金	1,223.00	▲ 2.70	USDJPY 6M Vol	7.80	▲ 0.05%
WTI	68.69	▲ 0.92	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	194.16	▲ 0.84	EURJPY 3M Vol	7.88	▲ 0.20%
ドルインデックス	94.68	▲ 0.08	EURJPY 6M Vol	8.33	▲ 0.05%

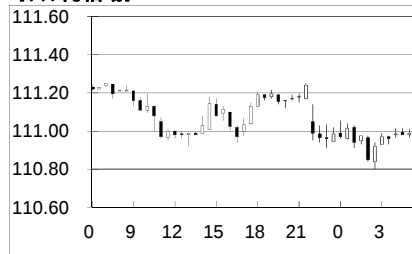
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月27日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 4.1%	4.2%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q 2.0%	2.2%
	21:30	米 個人消費	2Q 4.0%	3.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド指数	7月 97.9	97.1

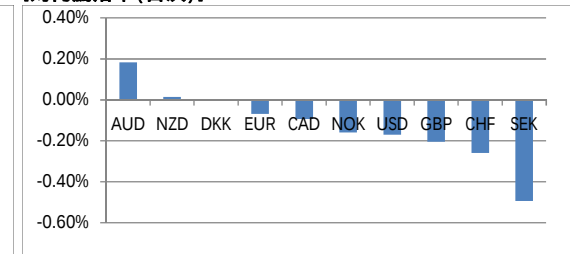
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月30日	08:50	日 小売売上高(前月比)	7月 1.5%	-1.7%
	18:00	欧 消費者信頼感指数	7月 -0.6	-0.6
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)	7月 0.4%/2.1%	0.1%/2.1%
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	7月 31.0	36.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40 - 111.40	1.1600 - 1.1700	128.80 - 129.80

【マーケットインプレッション】

先週末海外時間のドル円は下落した。米第2四半期のGDPは前年比で4.1%との高い伸びとなったものの、市場予想の4.2%をやや下回ったことを受け、ドルは主要通貨に対して軟調に推移し、ドル円も111円台前半から110円台後半まで下落する展開となった。本日のドル円はレンジ内で推移すると予想。本日は月末の5・10日であり、輸入企業によるドル買いが出る可能性があるものの、今週はFOMCや米雇用統計等の重要イベントが予定されており、本日からの日銀会合にも注目が集まっている。重要イベントを控えて、本日のドル円は方向感なく推移すると予想。

アジア	海外時間の流れを引き継ぎ、朝方111.25まで上昇していたドル円は111.16レベルで東京時間オープン。円債利回りにも上昇圧力がかかるなど、今月末の日銀金融政策決定会合における金融政策修正思惑などを背景に上値は重く一時110.92まで下落。その後、日銀の指値買いが通告されたのをきっかけにドル円は111円台を回復したものの、上値追いは限定的で111.12レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.12レベルでオープン。序盤に110.94まで売られた後は、米10年債が3%近辺で推移する中、買いに転じ、111.21まで上昇し、111.17レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3094レベルでオープン。英世論調査(YouGov)で、EU離脱の国民投票や直しを希望する回答数が42%に上り、否定(40%)を上回った。さらに、公約に再国民投票を掲げる英自民党支持率が10%台を回復したことから、ポンド買いがやや優勢。しかし、英石油会社が豪鉱山会社の米ガソリン・天然ガス資産の大半を105億ドルで買収することで合意したことで、ポンド売りドル買いの思惑が浮上する中、上値は限定的。7月英国国際貿易相が、メイ首相の離脱交渉の延長案は「完全に裏切り」と発言したことから、関係のさらなる辞任懸念が浮上すると、売りに転じ、1.3082まで下落。1.3096レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.17レベルでNYオープン。朝方は、米第2四半期GDP(一次速報値)発表を目前にし、上振れ期待からドル円は一時111.25まで上昇するが、結果は4.1%と予想4.2%を下回り反落。さらにトランプ大統領の記者会見を控え、為替や金利に対する言及があるのではとの思惑からドル売りが強まり、110.91まで下落する。トランプ大統領の記者会見では経済成長に対する発言があったものの、特段目新しい発言は無く、その後は111.05まで戻す。正午過ぎになると小幅高で推移していた株式市場が反落する展開に円買戻しが優勢となり、110.80まで下落する。午後は、週末を控え111円ちょうど付近での方向感の無い推移が続き、111.02レベルでクロスした。一方、仏GDPが予想を下回ったことなどから、海外市場で1.1622まで下落したユーロドルは、1.1627レベルでNYオープン。予想を下回る米GDPを受け1.1662まで値を戻し、午後は狭いレンジでの推移が続き、終盤に掛け高値を1.1664まで更新し、1.1652レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:濱・森谷